

(6) ボクシング競技

1 期 日 2021年8月26日(木)～29日(日)

8月26日(木)	13:00～	スポーツエントリーズチェック(監督・コーチ)[栃木県体育館分館]
	14:00～	監督会議・組合せ抽選
	14:30～	インテグリティ研修
	15:30～	開会式
8月27日(金)	7:00～	健診・計量[ホスピタルイン獨協医科大学]
	10:00～	競技・各階級1回戦[栃木県体育館分館] (少年男子・成年男子・成年女子の順)
8月28日(土)	7:00～	健診・計量[ホスピタルイン獨協医科大学]
	10:00～	競技・各階級準決勝[栃木県体育館分館] (少年男子・成年男子・成年女子の順)
8月29日(日)	7:00～	健診・計量[ホスピタルイン獨協医科大学]
	10:00～	競技・各階級決勝[栃木県体育館分館] (少年男子・成年男子・成年女子の順)

2 会 場

栃木県体育館分館

〒321-0152 宇都宮市西川田 4-1-1 TEL: 028-658-5900 FAX: 028-658-5902

〔 東北自動車道鹿沼インターから約20分、北関東自動車道上三川インターから約15分
東武宇都宮線西川田駅から徒歩約20分、JR宇都宮線雀宮駅から徒歩約30分 〕

3 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加都県	小計	合計
成年男子	1	5	8	48	120
少年男子	2	5	8	56	
成年女子	1	1	8	16	

(注) 少年男子監督2名のうち1名はセカンド(一般社団法人日本ボクシング連盟役員登録済みであること)

4 競技上の規定及び方法

- (1) 競技規定は、一般社団法人日本ボクシング連盟(以下日本連盟)競技規則による。
- (2) 代表チームの編成は、次の各階級とする。
 - ア 成年男子 ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、ウェルター、ミドル、ライトヘビーの8階級中の5選手。
 - イ 少年男子 ピン、ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、ウェルター、ミドルの8階級中の5選手。
 - ウ 成年女子 フライ級のみ
- (3) 競技はトーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。(成年女子は除く)
- (4) 競技時間は、下表のとおりとする。

種 別	第1ラウンド	休憩	第2ラウンド	休憩	第3ラウンド
成年男子	3分	1分	3分	1分	3分
少年男子	2分	1分	2分	1分	2分
成年女子	3分	1分	3分	1分	3分

- (5) 代表チームの階級の選定は、全て異なった階級とし、規定された8階級のうち任意の5階級に出場する。
- (6) 団体出場チーム
成年男子・少年男子とも次の得点方法により、各都県の合計得点の多い4チームが、それぞれ団体出場権を得る。
 - 競技得点法
 - ア 各階級の1位に5点、2位に3点、3位に1点を与える。
 - イ その他勝ち点1点を与えるが、抽選勝ちには与えない。
 - ウ チームの得点が同点の場合は、1位、2位、3位、参加者数の多いチームを上位とする。それでも同点の場合は抽選による。
 - エ 勝ち点を得た選手が競技出場を辞退したときには、それまで得た得点の全てを失う。但し、監督が選手の健康診断書又は理由書を競技委員長宛に提出し、許可を得たときはこの限りではない。
- (7) 選手変更については、監督会議前日の正午までとする。
- (8) 成年女子については3枠が充てられ1位、2位、3位が通過。3位に関しては準決勝で負けた選手が、3位決定戦を行う。

5 参加資格、所属都県及び選手の年齢基準

第76回国民体育大会関東ブロック大会総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 選手は、日本連盟医事ハンドブック4-2項(CHAPTER IV)を遵守する。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボクシングコーチ1、公認ボクシングコーチ3、公認ボクシングコーチ4のいずれかの資格を有すること。
- (3) セカンド
 - ア セカンド資格の有取得者であること。
 - イ 事前に申請した者であること。
 - ウ チーフセカンドは日本連盟公認のB級以上のセカンド資格を有する者であること。

6 組合せ

監督会議で抽選により決定。

7 参加・宿泊申込み

- (1) 第76回国民体育大会関東ブロック大会総則、宿泊要項を熟読の上、参加者負担金を納入し、参加申込み及び宿泊申込等は所定のWebページにアクセスし、必要事項を入力の上、申込期限までに手続きを完了すること。なお、完了しない場合は、原則として大会への参加を認めない。
- (2) 宿泊及び弁当業務取扱機関は、「東武トップツアーズ株式会社 宇都宮支店」とする。
- (3) 参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、都道府県大会若しくは選考会に出場した選手に限り認める。ただし、その場合、下記提出先に、それぞれ医師の診断書を添えて、文書で届けなければならない。また、参加申込み後の階級の変更は認めない。その取り扱いについては次の通りとする。
 - ア 提出期限 2021年8月25日(水) 監督会議前日まで
 - 注 下記イ(ア)、(イ)への申込みについては書留郵便又は宅配便により送付すること。
 - イ 提出先
 - (ア) 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田一丁目1番20号 県庁舎南別館2階
第76回国民体育大会関東ブロック大会栃木県実行委員会事務局
TEL 028-623-3414 FAX 028-623-3411
 - (イ) 〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2 白鷗大学足利高等学校内
栃木県ボクシング連盟
TEL 0284-41-0890 FAX 0284-42-3335

8 参加上の注意

- (1) スポーツエントリーズチェックにおいては、監督・コーチの2名が参加し、選手手帳・健康申告書・女子健康申告書（成年女子種別のみ）・ユニフォーム（赤・青）を持参すること。
- (2) 個人で持参するもの
選手手帳、健康保険証、健康申告書、女子健康申告書（成年女子種別のみ）、競技用具（ユニホーム、ヘッドギア、シューズ、マウスピース、カッププロテクター（男子種別）、チェストガード（成年女子種別）、ローブローガード（成年女子種別）等。
ア ヘッドギア（少年男子種別、成年女子種別）
 - (ア) 日本連盟及びAIBAの検定品マークのついているもので劣化していないもの。
 - (イ) 清潔で状態の良いものであること。
 - (ウ) コーナー色のヘッドギア（赤色及び青色）を着用すること。
 - (エ) 前頭部及び側頭部には学校名などの記入（刺繍も含む）のないもの。
イ ユニホーム
 - (ア) コーナー色（赤色及び青色）のものを着用すること。
（赤:Pantone185、199、485 青:Pantone286、293、661）
 - (イ) ベルトライン（へそと臀部の頂点を結んだ線）は白色またはトランクス、ランニングとはっきりと違う色で6 cm から 10cm の幅でなければならない。
ウ マウスピース
赤色及び赤系統の色が含まれるマウスピースの使用は禁止する。
- エ カッププロテクター（男子種別）及びローブローガード（成年女子種別）
すべての男子競技者はカッププロテクターを着用しなくてはならない。女子の競技者のローブローガードの着用は任意である。使用の際は標的領域（ターゲットエリア・ベルトラインより上）を覆ってはならない。
- オ チェストガード（成年女子種別）
女子の競技者のチェストガードの着用は任意である。
- (3) 毛髪・入れ墨・タトゥーについては、日本連盟医事ハンドブック CHAPTER Xを遵守すること。
ア 前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。長髪の場合はゴム等で適切にまとめ、目に入らない様にしなくてはならない。ヘッドガードを使用する場合はヘアネットやスイミングキャップ等をかぶってまとめた後に装着しなくてはならない。ヘアピンなどのアクセサリは使用してはならない。
ヘアネットまたはスイミングキャップは、必ず個人で持参すること。
イ クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の眼に入り角膜擦過傷を引き起こす危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。
ウ 身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。
- (4) 成年女子種別については、以下の項目を遵守すること。
ア 競技の服装
上半身は短い袖のTシャツ（ノースリーブを含む）、下半身はトランクスとすること。トランクスの代わりに競技用スカートも着用することができる。トランクスの下にスパッツの着用は許されるが、トランクスの長さより短くなければならない。
イ 計量
競技用服装等を着用して行う。体重超過のおそれがあり、選手からの申し出があった時は、競技用服装等を着用しての計量から、着用の服装の重量を控除して計量することができる。
ウ 健康申告書
毎日の健診で、日本連盟競技規則別紙4の申告書を提出しなければならない。20歳以上の女子競技者は本人の署名及び捺印、20歳未満の女子競技者は本人及び両親あるいは法的後見人の中の一人から署名及び捺印を必要とする。
- (5) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。

- (6) 選手手帳は大会日数分の記載欄があるもので、写真が貼付されているものであること。
なお、会場地での選手手帳の発行は一切行わない。
- (7) 監督・セカンドは、日本連盟に2021年度の役員登録済みの者であること。
セカンドについては、日本連盟公認セカンド資格のいずれかを有していること。
- (8) 新型コロナウイルス感染症対策については、別途定める。